

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成28年4月1日	終期	平成31年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	区バス運行事業費補助金 区制導入に伴い、区役所など区内施設への新たな移動ニーズに対応するため、区ごとに路線バスを運行する。						
款・項・目	土木費 都市計画費 都市計画総務費						
所属等	都市政策部 都市交通政策課 地域交通整備室 電話025-226-2730						

年 度		28年度(1年目)	29年度(2年目)	30年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	7,114	6,987	5,698
	決算(千円)	7,114	6,827	
補助率		72%	70%	
目 標		新たな移動ニーズに対応し、また区の一体感を醸成するため。 運行経費の3割以上の運賃収入を確保する。 <目標が数値でない場合の評価方法>		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上		100.0%	運賃収入/運行経費 30%
	達成率 80%以上	93.3%	運賃収入/運行経費 28%	
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください			
補助事業者による情報の公表		車内に掲示 又は 交通事業者ホームページ		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 利用促進PRなどを積極的に実施することで収支率の向上を図り、補助率が1/2以内となるよう取り組む。				
	<g～hにおける取組>				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 区バスは自家用車を利用できない高齢者などが日常生活に利用する公共交通として定着していることから、利用促進PRなどに積極的に取り組みながら、引き続き補助金を継続していく。					